

# 情報化施工

## ■ 概要

ICTを建設施工に活用して、高い生産性と施工品質を実現する新しい施工システム。屋外の位置特定、通信、情報処理等の技術開発と普及に伴い、情報化施工技術は実用化。

## ■ 内容

- 衛星測位などを用いて現在の位置・姿勢データと設計データを比較し、排土板（高さ・勾配）を制御等
- 主な情報化施工技術\*1
  - 施工に関する技術：MCE-タグレーダ技術、MC/MGバルトザ技術、MGバックホウ技術
  - 施工管理に関する技術：TS出来形技術（土工）、TS・GNSS締固め管理技術
- H24年度中 次期「情報化施工推進戦略」（H25～29）策定（予定）

## ■ 効果

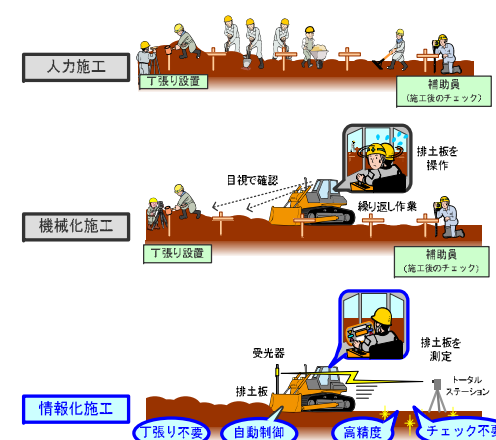
- 建設施工において施工効率・品質の向上が期待でき、丁張りやチェック（検測作業）が不要となる。

### 施工に関する技術



## 3次元マシンコントロールの事例

衛星測位を用いて設計データと現在の位置データを比較し、排土板を制御（高さ・勾配）するシステム



\* 1 : MC : マシンコントロール、MG : マシンガイドシステム、TS : トータルステーション、GNSS : 衛星測位システム

（出典）国土交通省提供資料を元に内閣府で作成

貢献していると思われる主なICT基盤技術：ワイヤレスネットワーク、M2M、センサー技術